

追手町音羽町線

おうてまちおとわちょうせん

1/2

静岡県静岡市

ウォーカブル推進都市

■人口 667,503人

■所在地：静岡県静岡市追手町

■路線データ



その他活用

再構築



水辺



地域資源活用



ビジョン策定



■取組の概要

本路線は、歴史・文化施設や観光資源が集まる「駿府城公園周辺」と、交通の拠点である「静岡駅・新静岡駅」の中間に位置しています。しかし駿府城公園への玄関口でありながら、車道を占有する路上パーキングや地下駐輪場の出入り口が快適な歩行への支障であること、歴史的な遺構（石垣・お堀）を感じ、休憩・滞在できる空間が不足していることがエリアの課題でした。2014年、地元からの空間活用についての要望書提出をきっかけに、地元・庁内関係課・所轄警察で組織する空間活用検討協議会を設置、2020年に御伝鷹まちづくり株式会社を都市再生推進法人に指定を経て、2020年には水辺デッキの整備が完了しました。現在は、「歴史文化への誘い道」として地域主体による道路空間の活用が進められており、2021年には、道路内建築物としてカフェ店舗がオープンし、『駿府ホリノテラス』を愛称に水辺デッキと一体的な空間活用が実現しています。

■地域資源活用

駿府城公園を中心に、歴史博物館、市民文化会館などの歴史・文化施設、さらに夜間ライトアップや中堀を周遊する「葵舟」など、豊富な観光資源が集積するエリアです。主要な交通結節点に隣接するという利点を活かし、市街地と集客エリアを繋ぐ拠点として整備されました。歴史を感じながら、居心地よく滞在できる施設として、エリアの回遊性を高める役割を果たしています。

■再構築・水辺

路上パーキングの廃止や地下駐輪場出入口の再編を伴う道路整備に併せ、お堀へ張り出す「水辺デッキ」を一体的に整備し、お堀の景観と親和性の高い、開放的なオープンスペースを実現しました。整備後の維持管理・運営は都市再生推進法人が担い、水辺を活かしたイベントや人々の交流を促進する空間づくりを継続的に行っています。



地図出典：OpenStreetMap

追手町音羽町線

おうてまちおとわちょうせん

2/2

■都市区分 政令指定都市

■用途地域 第二種住居地域

■路線延長 約1.1km

■再整備区間 約0.2km

■整備年代

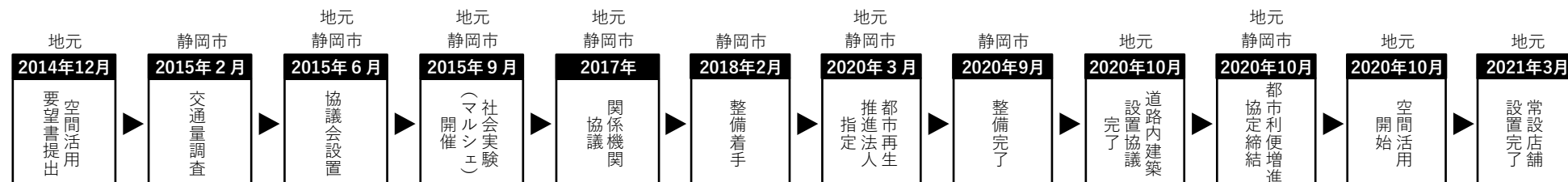
- ・構想・設計：2014～2017年
- ・整備（工事）：2018～2020年
- ・利活用：2020年～

■取組が位置づけられている計画、ビジョン等
・第3次総合計画

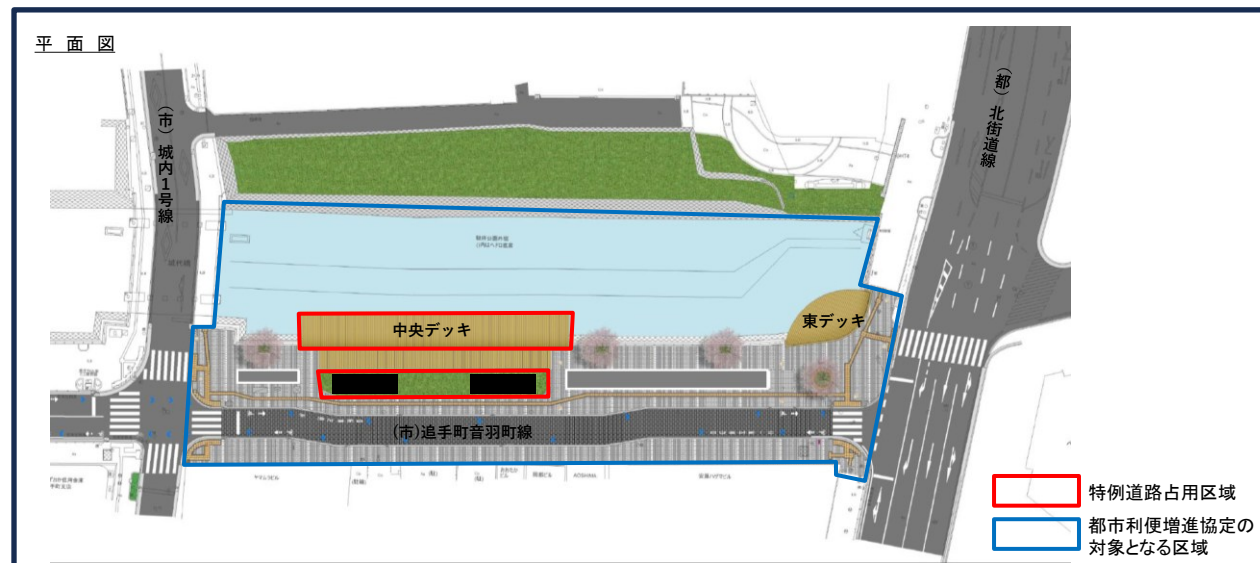
■活用した国の施策・制度
・都市構造再編集中支援事業

■問い合わせ先
・静岡市都市局都市計画部
景観まちづくり課・都市計画課

■取組の流れ



■参照資料
・官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■整備主体
・整備（道路空間）：静岡市

■整備・再構築状況
・水辺デッキの構築による歩道空間の拡幅

■利活用団体
・御伝鷹まちづくり株式会社
（都市再生推進法人）

■利活用状況
・御伝鷹まちづくり株式会社と都市利便増進協定を締結し、カフェ店舗や広場利用による空間活用を実施